

科目名	心理学概論			ナンバリング	GEN115	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	高島翠	担当教員					

授業の概要	この授業では、心理学の主要分野について紹介し、心理学の今日的展開と歴史について概観する。心理学とは、「人間の行動を科学する」学問であるが、その内容は人々が想像しているものよりも多様な分野から成り立っている。現在心理学が多様な広がりを見せているのは、研究対象である人間が多面的で複雑な存在であるからに他ならない。講義では、これらの多様な分野からなる心理学の中から、主要なトピックスを紹介する。						
到達目標	①各分野の心理学などの主要な考え方や知識を身に付ける ②単なる知識として修得するだけではなく、日常生活で体験しうるものであることを理解する						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な予備知識など）	講義で説明する内容をしっかり聞くこと、参考図書やスライドをもとに、必要な内容はノートに取ることを勧める						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①心理学の基本的な現象について、理解している ②心理学の代表的な実験について、正しい用語で説明できる ③日常例に関する心理学的な現象を、心理学のキーワードを用いて説明できる	①心理学の基本的な現象について、理解し、自分の言葉で説明できる ②心理学の代表的な実験について、専門用語を用いて説明し、さらにその実験がどの後の心理学の研究にどのような影響を与えたのかを考えることができる ③日常例に関する現象を、心理学のキーワードを用いて、具体的な日常例とあわせて説明できる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○				100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	試験の解答用紙は、要請があれば開示できるように準備しておく
---------------	-------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	心理学とは何か、心理学の正しいイメージを紹介する	
	第2回	感覚と知覚	さまざまな知覚現象を通して、私たちのものを見る際の特徴を紹介する	
	第3回	学習の心理1	古典的条件づけに関する手続き、成立までの経過を具体的な日常例を用いて紹介する	
	第4回	学習の心理2	オペラント条件づけに関する手続き、成立までの経過を具体的な日常例を用いて紹介する	
	第5回	記憶の心理	感覚記憶・短期記憶・長期記憶の特徴および、記憶のプロセスを紹介する	
	第6回	社会心理学1	対人魅力や印象形成など、他者との関わりにおける心理学的な知見を紹介する	
	第7回	社会心理学2	集団の中で、私たちの行動がどのように影響を受けるのか、紹介する	
	第8回	個人差の心理学1	人格理論のうち、特性論と類型論がどのように異なるのか紹介する	
	第9回	個人差の心理学2	どのように個人差が生じるのか、関連する要因を紹介する	
	第10回	発達心理学1	ピアジェの理論を中心に、乳幼児の認知の発達の特徴について紹介する	
	第11回	発達心理学2	エリクソンの理論を中心に、青年期における発達課題と発達の特徴について紹介する	
	第12回	ストレスと情動	ストレスの生起メカニズムとその対処方法の特徴について紹介する	
	第13回	臨床心理学	自己の捉え方に関する3つの学派の基本的な考え方を紹介する	
	第14回	心理学の歴史	心理学の誕生から、現代の心理学につながる、具体的な心理学の歴史について紹介する	
	第15回	まとめ	前期の間に学習した内容をまとめ、整理する	
	試験	全講義終了後の試験期間中に筆記試験を実施する。試験範囲は全範囲、持ち込みは一切不可とする。試験実施日は掲示版にて確認すること。		
授業の進め方		基本的に講義を中心に行う。		
授業外学習の指示		【予習範囲】(90分)参考図書の指定箇所を読んでおくこと。 【復習】(90分)授業のノートを参考に、manab@に提示される復習課題について説明できるように復習する。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	使用しない
参考書	書名:心理学への招待(改訂版) 出版社:サイエンス社 著者:梅本堯夫他 ISBN:9784781913476 書名:心の科学 出版社:明星大学出版会 著者:林洋一他 ISBN:9784895491822
参考URLなど	
その他	manab@IMUにおいて、質問コーナーの掲示板を作成するので、授業外で質問がある場合には活用すること。また、授業終了後には「復習課題と翌週のキーワード」をアップするので、復習・予習に役立てること。 なお、講義を受講する態度が身についていない学生の受講は認めない。